

科目名	コンサートプロダクト1							年度	2026
英語科目名	Concert Product 1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサートPAコース 1年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	中里 哲也	教員の実務経験		有	実務経験の職種		舞台音響		
【科目の目的】 実践的な実習を通して、コンサートPAスタッフとしてそれぞれの役割を理解し、組織の中で機能できる能力を持つことを目的とする。1年次に実施する片柳記念ホールでのホール実習や修了公演を通じて、PA機材を理解しPAスタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーションを身につける。									
【科目の概要】 ＜コンサートPAコース＞ 簡単な機材セッティング・マイクの取り扱いなど、基礎技術を習得します。									
【到達目標】 A. ケーブルやコネクタの名称が理解できる B. 簡単なフェーダー操作を理解し台本通りにミキシングができる C. 八の字巻き、マイクスタンドのセッティングができる D. ミキシングコンソールを理解し、入出力のセッティングができる E. ミキシングコンソールを理解し、チェック、音出しができる									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ケーブルやコネクタの種類や名称が理解できる 確実にセッティングができる		ケーブルやコネクタの種類や名称が理解できる		ケーブルやコネクタの種類や名称が理解が乏しい				
到達目標 B	簡単なフェーダー操作を理解し確かなレベルで フェーダー操作ができる		簡単なフェーダー操作を理解し台本通りにミキシング ができる		簡単なフェーダー操作で台本通りにミキシングが できない				
到達目標 C	手際よく八の字巻き、マイク スタンドのセッティングができる		八の字巻き、マイクスタンドのセッティングが できる		時間内に八の字巻き、マイクセッティングが できない				
到達目標 D	ミキシングコンソールを理解し入出力のセッ ティングがスムーズにできる		ミキシングコンソールを理解し入出力のセッ ティングができる		ミキシングコンソールを理解し入出力のセッ ティングができない				
到達目標 E	ミキシングコンソールを理解し、チェック、音 出しができトラブルシューティングもできる		ミキシングコンソールを理解し、チェック、音 出しができる		ミキシングコンソールを理解し、チェック、音 出しができない				
【教科書】 資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 *グレードテストを定期的に行う。 *授業内容の理解度を確認するために実施する。 *積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンサートプロダクト1			年度	2026
英語表記		Concert Product 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	【基礎実習】 機材の取り扱い	PA機材の名称と取り扱い	1 ケーブルやコネクタの名称	ケーブルやコネクタの名称を理解する	2	
			2 ケーブル巻き	八の字巻きができる		
			3 機材の取り扱い	ケース・スピーカーの持ち方を理解する		
2	【基礎実習】 機材の取り扱い	PA機材の名称と取り扱い	1 電気の話	AC/DC・バッテリーが理解できる	2	
			2 マルチケーブル	16chマルチケーブル・ジャンクションボックスが理解できる		
			3 機材の取り扱い	CD/マイクロホン/アンプ/SPのつなぎ方が理解できる		
3	【基礎実習】 機材の取り扱い	PA機材の名称と取り扱い	1 マイクロホン	マイクロホンの種類と取り扱いが理解できる	2	
			2 マイクスタンド	マイクスタンドの立て方とマイクのつけ方が理解できる		
			3 機材の取り扱い	アウトチェックとインプットチェックができる		
4	【基礎実習】 機材の取り扱い	PA機材の名称と取り扱い	1 エフェクター	イコライザーの仕組みが理解できる	2	
			2 エフェクター	リバーブやディレイを理解できる		
			3 簡単なミキシング	フェーダー操作を理解し簡単なミキシングを行うことが起立		
5	【基礎実習】 機材の取り扱い	PA機材の名称と取り扱い	1 インカム	インカムの仕組みを理解しコミュニケーションができる	2	
			2 ドラム收音	ドラムにマイクを立てて收音してみる		
			3 ミキシング	ホールでのミキシング体験		
6	【基礎実習】 グレード実技	スタンドの取り扱いと八の字巻き	1 復習	マイクスタンドの立て方と八の字巻きの復習	2	
			2 スタンドの取り扱い	スタンドを立て、マイクロホンをつける		
			3 八の字巻き	10mのマイクケーブルを3分以内に八の字巻きする		
7	PAシステム	基礎実習の復習	1 基本情報	機材の場所と倉庫	2	
			2 EAWスピーカー	運び方スタックとラッシングの取り扱い		
			3 復習	CD/マイクロホン/アンプ/SPのつなぎ方の復習		
8	PAシステム	ホールでのEAWスピーカーの取り扱い	1 EAWスピーカー	マルチウェイシステムを理解する	2	
			2 EAWスピーカー	マルチウェイシステムでアウトチェック		
			3 ミキシングコンソール	AUXとGROUP回線について理解する		
9	PAシステム	フルスペックスピーカーシステム	1 EAWスピーカー	3/3スタッキング	2	
			2 EAWスピーカー	3/3でアウトチェック		
			3 ミキシングコンソール	PM3500の使い方/MGP24Xとの違い		
10	PAシステム	ミキシングコンソール	1 EAWスピーカー	スピーカーの特性とホールの特性	2	
			2 ミキシングコンソール	VCAGroupとMatrix回路を理解する		
			3 ミキシングコンソール	パラメトリックイコライザー		
11	PAシステム	ボーカルチャレンジに向けて	1 モニターシステム	ころがし(Foot)モニターの役割	2	
			2 ミキシングコンソール	GEQのつなぎ方・インサートケーブル		
			3 ミキシングコンソール	リバーブ・ディレイのつなぎ方・かけ方		
12	ボーカルチャレンジ	ボーカルチャレンジに向けて	1 モニターシステム	ハウリング対策モニターチューニング	2	
			2 モニターシステム	ホールでの配線		
			3 FOHシステム	ハウスチューニング		
13	ボーカルチャレンジ	ボーカルチャレンジに向けて	1 ミキシング練習	オケとボーカルのバランスをとる	2	
			2 モニターシステム	FootとSideFillのバランスをとる		
			3 モニターシステム	PM3500Mを使用してのモニターミキシング		
14	ボーカルチャレンジ	ボーカルチャレンジに向けて	1 ハウスミックス	ボーカルとオケリバーブのバランスをとる	2	
			2 モニターミックス	アーティストが歌いやすいようにモニターバランスをとる		
			3 役割分担	会場BGMや影アナのレベルやタイミングの確認をする		
15	ボーカルチャレンジ本番	各コースの役割、分担、連携を学ぶ	1 ハウスミックス	ボーカルとオケリバーブのバランスをとる	2	
			2 モニターミックス	アーティストが歌いやすいようにモニターバランスをとる		
			3 役割分担	ライブの進行に沿って他セクションとのコミュニケーションをとり運営をする		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等